

中丹の教育

まなび通信「府立学校版」

京都府中丹教育局  
平成30年8月31日  
府立学校版 第55号



進路を考えた夏から→目標を決める秋へ！

中学校3年生のみなさんへ

夏季休業中に、高校等で学校説明会等が開催されました。秋には再度、学校説明会や個別相談会が予定されています。志願する学校へは必ず行きましょう。

自分自身で体感し、卒業する自分の姿までをイメージして受験校を決めましょう。

平成30年度中丹地方中高連携推進会議（今年度で3年目）を開催しました

中丹通学圏内の中学校、高等学校は、「一人一人の生徒を大切にした連携を進めます。生徒の学びの連続性を意識した中高連携を充実させます。」と、会議の中で確認しました。

◆参加者 管内府立高等学校副校長・管内市立中学校副校長、教頭

◆主な内容

＜事例紹介＞ユース・アシスト／脱ひきこもり支援センター *関係機関との連携強化*

＜パネルディスカッション＞テーマ「生徒の社会的自立を実現するために」

- \*綾部高校定時制 副校長…定時制での教育実践から
- \*東舞鶴高校 副校長…中高連携の取組から
- \*桃映中学校 教頭…効果のある学校・地域未来塾等の取組から
- \*和田中学校 教頭…小中一貫教育による学力向上システムの取組から



◆中高連携の具体的方策について（参加者の声から）

	中学校からの提案	高等学校からの提案
①	中学3年生3学期を <b>高校1年生0学期</b> と捉えた指導をしよう。(中学校との違いや起こるかもしれない危機的な状況等の学習)	高校1年生1学期を <b>中学3年生4学期</b> と捉えた指導をしよう。(学びの連続性を意識し、丁寧な指導体制の強化)
②	小学校から <b>基礎学力</b> の質的向上を目指そう。(生徒の自尊感情を高めること、高校に受かる学力と卒業できる学力への意識付け)	<b>高1の4月</b> に、高校生活への満足感や充実感を得られるための工夫をしよう。(学校行事や部活動等への参加、分かる授業の展開)
③	学ぶことへの意義付け、 <b>魅力的な学校・授業づくり</b> をしよう。(小学校からのキャリア教育の充実)	中学生・保護者に各 <b>高校のよさ、特色</b> をよく知ってもらおう。(オープンスクール・ホームページ等の広報の充実)
④	生徒の発達を支える指導を充実させよう。(移行支援シート等の活用)	生徒の学力状況の背景を理解しよう。(生活習慣、家庭環境等の密な情報交換)
⑤	<b>関係機関との連携</b> を充実させよう。(専門家など外部の力を借りることも方策の一つ) <b>教員研修</b> で、それぞれの校種で何ができるかを具体的に考えよう。そしてつなごう。	

進路豆知識

Q: **単位制による通信制課程**について教えてください。

A: **西舞鶴高校通信制**では、アルバイト等の仕事や家事、育児等と両立しながら、「自学自習」を基本とした自らのペースで学習を深めていける学習形態をとっています。「学び直し」や「生涯学習」の視点に立ち、様々な地域から幅広い年齢層の生徒が通学しています。

通信制の学習は、年度当初に登録した受講科目のスクーリング（面接指導）、レポート及びテストを三本柱として単位認定を行います。スクーリングは、週1回（土曜日か日曜日）の昼間に実施しています。学校生活や各種取組については、ホームページで紹介しています。